

わたしのまちづくり わたしのまちづくり

実務家を招いた講演会で地域に活力を！

高岡信用金庫 常務理事 今 勉

I. 営業エリアの概要

当金庫は、大正 12 年の不況時に、地元の事業家たちが発起人となって設立しました。

現在、高岡市内を中心に店舗を展開し、全 29 店舗（高岡市内 25、富山市内 2、射水市内 1、礪波市内 1）で、営業を行っています。

高岡市は人口 18 万人の富山県第二位の中核都市で、鋳物、アルミ産業を核とする「ものづくりの町」であり、取引先も製造業者とその従業員が多くなっています。

平成 20 年 7 月には東海北陸自動車道が全線開通し、平成 26 年度末までには北陸新幹線が開業する予定など、都市計画が着々と進められています。



（高岡信用金庫 今さん）

II. たかしん講演会の開催

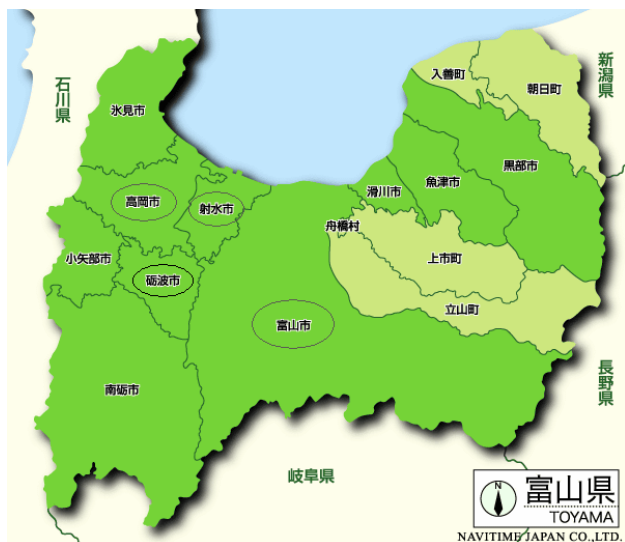
（1）講演会開催のねらい

当金庫の基本方針は「1. 当金庫は広く地域社会の繁栄に貢献することを目指す」、「2. 当金庫の役職員は和協一体目的達成に努力する」の 2 点です。

この基本方針を実践すべく、これまでも様々な施策を展開してまいりました。

これまでも支店単位で経営者の親睦会等を運営していましたが、ビジネスチャンスの創出に繋げていくことを意図して、新たに全店の顧客が集う場として、平成 19 年から「たかしん講演会」を年 2 回開催することとしました。

近年、情報のグローバル化により、中央と地方との情報格差がなくなってきたとはいえ、やはり、地方では情報の入手に遅れをとっているのが事実であると考えていました。



* 高岡信用金庫の営業エリア。○で囲った市
出典：BIGLOBE 地図

そこで、世界から日本、全国から高岡を見るという視点で、広く地域社会の皆様に役立つ情報を発信するというねらいも講演会にはあります。

(2) 1年目

講演会開催のノウハウがないため、第一回目の講師は、打合せがしやすいように、当金庫の非常勤監事でもある、信州大学法科大学院教授の米田保晴氏に依頼することとし、平成19年4月に「アメリカから見た日本～日米文化比較～」と題してご講演をいただきました。

このときには併せて、翌年から始まる裁判員制度についても裁判所の職員からご説明をいただきました。

事前に参加希望者を募り名簿を準備していましたが、本部職員だけでは来場者の確認に手間取るため、各店の支店長を待機させ確認にあたりました。

同年10月には、信金中央金庫総合研究所の所長(当時)である武富将氏に「景気・金利・為替の先行きを探る」という演題で経済情勢に関するご講演をいただきました。

いずれの講演会も好評ではありましたが、地場産業の低迷が続く中、経営者からは「先進的な経営者の声が聞きたい」との意見を多くいただきました。

(3) 2年目

そこで、平成20年5月に実施した第3回目では、世界的な建機メーカーであるコマツの関連会社で富山県氷見市に本社を置き、コマツ製品に使用される鋳造部品を生産しているコマツキャスト株式会社代表取締役社長である佐藤泰樹氏に「グローバル化とものづくり」と題してご講演をいただきました。

この回から、受講者には事前に入場券を配布し、会社名・氏名・住所を記入した上で当日ご持参いただくことにし、本部職員数名の受付で参加者が確認できるようにしました。

このとき初めて、地元産業界との交流

や新たなビジネスに結び付けていただくため、講演終了後に講師と希望者との名刺交換会も実施しました。

また、後日には新たにコマツの協力工場を希望された数社の経営者と同伴し、工場見学を含めその橋渡しを務めました。

名刺交換会も好評であり、懇親会を望む声も聞かれました。しかし、世界のコマツではスケールが大きすぎるとの声もありました。

そこで、同年10月開催の4回目では、バネの下請企業であった会社を東証一部上場の企業にまで発展させたタカノ株式会社の堀井朝運相談役に講師を依頼し、「中小企業の新規事業開発～町工場から上場企業への飛躍～」と題してご講演いただきました。

このときも名刺交換会を実施しました。



(名刺交換会後の質疑応答様子)

(4) 3年目

この頃、リーマンショックにより、世界経済が大きく混乱することになりました。先が見えない景気の低迷に地元経営者が不安を抱いていたため、平成21年6月の第5回目の講演会では、三菱UFJ証券株式会社の景気循環研究所長である嶋中雄二氏に「内外景気の現状と今後の見通し」と題してご講演をいただきました。

受講者からは、「前向きな意見が聞けて、安心と勇気を得た」と、大変好評でした。

先に述べましたように、当金庫の地元はアルミ建材大手企業を中心としたアルミ産業、鋳物等の銅器産業等ものづくり企業の集積地であり、需要の冷え込みにより、地元経済も低迷を極めており、地元産業界はもとより、行政も含めて新分野の産業を切望しています。

そこで、今後需要の拡大が見込まれる環境分野への進出の足がかりにさせていただくよう、平成 21 年 11 月には、株式会社京セラソーラーコーポレーション常務取締役である 瀧上 巖氏に「太陽光発電の現状と今後の展望」と題して、太陽光発電の市場状況から助成制度、関連する業種の豊富さなどについて、ご講演をいただきました。



(株)京セラソーラーコーポレーション
常務取締役 瀧上 巖氏)

講演後の名刺交換会では、個別の名刺交換に先立って、全体での質疑応答の時間を設けたところ、活発な意見交換がなされました。受講者からはビジネスチャンスに繋がりたいと、今後の展開に期待する声が多く聞かれました。

また、講師からも後日「率直な質問内容に勉強させられ、今後の課題を見つけたように思う。」との感想をいただきました。

現在は、新事業として太陽光発電に進出の意向がある数社と京セラとの橋渡しを行っている最中です。

地元企業の新たなビジネスに繋がってくださることを期待しています。

III.まとめ

当金庫が定期的に講演会を開催していることを知り、これまでいくつかの講師派遣会社等から講師派遣の提案がありました。

しかし、現時点では、地元の経営者が望んでいる講演にするためには、地元の状況や話して欲しい内容について事前に講師と打合せをする必要があると考えており、講師選びから運営までを全て金庫内で行なっています。

受講者からは、今後も時流を先取りした内容の講演会を期待しているとの意見を多数いただいております、毎回 300 人以上の方が受講されています。

これからも、受講者により満足していただくため、時流にあった有益な情報を提供できるよう、講演会の運営に努めていきたいと考えています。

富山県は、アルミ、鋳物のほか自動車関連や工作機械の部品加工・製造を手がける企業も多くあります。背景には日本海側有数の工業県としての産業基盤となる良質な労働力があります。

この講演会を通じて新たなビジネスチャンスが生まれ、地域の産業集積や雇用の確保・消費拡大等地域活性化のお役に立てることを切に願っています。



(平成 21 年 11 月開催のたかしん講演会)

たかしん講演会参加者の声

(平成 21 年 11 月開催「太陽光発電の現状と今後の展望」のアンケートより)

① 大変参考になった

- ・ 太陽光発電について詳しく理解できた
- ・ 時流にあった内容だった
- ・ 今後太陽光発電事業に進出したい
- ・ ビジネスチャンスに繋げる

② 参考になった

- ・ 太陽光発電について理解できた
- ・ 今後の事業展開の参考になった
- ・ 行政の動向など、興味深い話で参考になった
- ・ 問題点と解決策、コスト意識
- ・ 内容についてもう少し聞きたかった。

③ 参考にならなかった

- ・ 基本的に知っている範囲の内容だった

④ 全く参考にならなかった

- ・ 会社の自慢話

(個別の声)

- ・ これまでは既存事業のことで頭がいっぱいで、新しい事業展開を全く考えていなかった。建材市場の回復は困難と見ており、太陽光発電を含めた環境関連分野への進出を模索したい。

(40代 アルミ建材)

- ・ 建設業(管工事業)であるが、仕事量が漸減している。太陽光発電の取り付け工事を新たに手がけたい。

(50代 管工事業)

わがまちインフォメーション

岐阜県郡上市における地域活性化への取組み

八幡信用金庫



* 写真は 5 年目を迎えた植栽事業の様子(平成 19 年 5 月)

岐阜県郡上市に本店を置く当金庫は、地域経済の活力が低下するなかで、市や商工会など地域の 7 団体が連携する「郡上地域活性化協議会」を設立、コーディネータとして、様々な取り組みを実践してきました。

内閣府の「地方の元気再生事業」に採択されてからは、「郡上・長良川源流域森と川の恵み集落再生・実証実験」として、郡上産材を活用したコテージの企画、

廃村集落の再生、地元食材による新メニュー開発など地域資源を活かした誘客促進に取り組んでいます。

(お問い合わせ先：八幡信用金庫 営業統括本部 Tel 0575-65-3125)